

三十八人しか死なない。其が、酒を飲んだ家屋に於ては、五百五十二人まで死んで居る。之によつても如何に酒が罪であるか判る。飲酒は殺人なり、斯う私は驚かして驚かす事はないのであります。

**酒と犯罪**

酒は犯罪者である。米國に於きまして五十人の警官が殺けられまして千八百九十三年から千九百五年まで約十二年間、一萬三千四百二人に於て研究した處が、酒が原因の犯罪が、接連の爲の犯罪者より遙に多い、即ち接連の爲の犯罪者はたつた三割であるけれども、酒の爲の犯罪者は三割七分であるといふこの報告が出て居ります。之によつても、犯罪は酒によつて起る事が如何にも多いと判ります。

**酒は國賊**

酒は父を國賊である。動員を起すものは酒である。露西亞に於て、七億圓或は八億圓もあらうといふ酒の收入を一擲したのは、動員が遂げられたから、政府が斷行したのである。英國に於て、米國に於て、其議員が禁酒を決議したのは、動員が遂げられるからであります。

**酒と暴動**

酒は暴動を起す。一昨年の米騒動の時に私は見ました。八月十三日朝の、私は兵庫縣知事に向つて忠告を申し行つた。「知事閣下、若し貴下が直ちに神戸全市に禁酒を命じなければ、近く大きな暴動が起るでありません。」知事曰く、「實川君有難いけれども、それは僕の權限でないから出来ません。」方の知事には其權限がないのだ。張せる哉。午後三時頃に約三百か四百の暴民が本高田屋といふ大きな酒屋に飛込んで、五千圓ばかりの酒を飲んで、四時五時を歩いて元町の家を荒し廻つた。戒者は大きな酒樽を持つて貧民窟附近の廣場へ入つて後通し飲んで、三十人はかりで大きな四半樽を飲盡して、また飲切れないうつて、一後通し飲んで、翌朝私の友達が私に行つたら、酒を真中にして疑はれて、一後通し飲んで、翌朝私の友達が私に行つたら、酒を真中にして四か八方に打倒れてるのを見たさうであります。斯ういふ種類の暴動は、主として酒によつて手傳はれたものである。

**酒と革命**

酒は革命を起す。今から百三十年程前に、佛蘭西巴里に起つた大革命の時に、三百萬の人が犠牲になつたといふ理由は、やはり酒がその原因